

2015年12月期 第2四半期決算説明会

プロジェクト AH A MAY 作品

ヤマハ株式会社と当社のデザイン部門が
お互いのフィールドを交換してデザインしたプロジェクト



ヤマハ発動機株式会社

2015年8月4日

本日ご説明する内容

2015年12月期 第2四半期決算

■ 概要説明 代表取締役社長 柳 弘之

■ 事業別説明 取締役 篠崎 幸造

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

増収・増益

各事業セグメントにおいて収益体質改善進む。

◇ 売上高	:	8,211億円	(109%)
◇ 営業利益	:	697億円	(142%)
◇ 営業利益率	:	8.5%	(+2.0pt.)
◇ 経常利益	:	744億円	(151%)
◇ 当期純利益	:	521億円	(162%)
		(\$・€)	(120・134円)

■ 概要

増収（109%）・増益（142%）

各事業セグメントにおいて収益体質改善進む。

■ 上期

先進国：市場回復～安定する中、各事業の増収・増益続く。

新興国：市場低迷・通貨安が続く中、概ね前年水準の業績を維持する。

■ 下期

先進国：新商品投入・ラインナップ強化を進める。

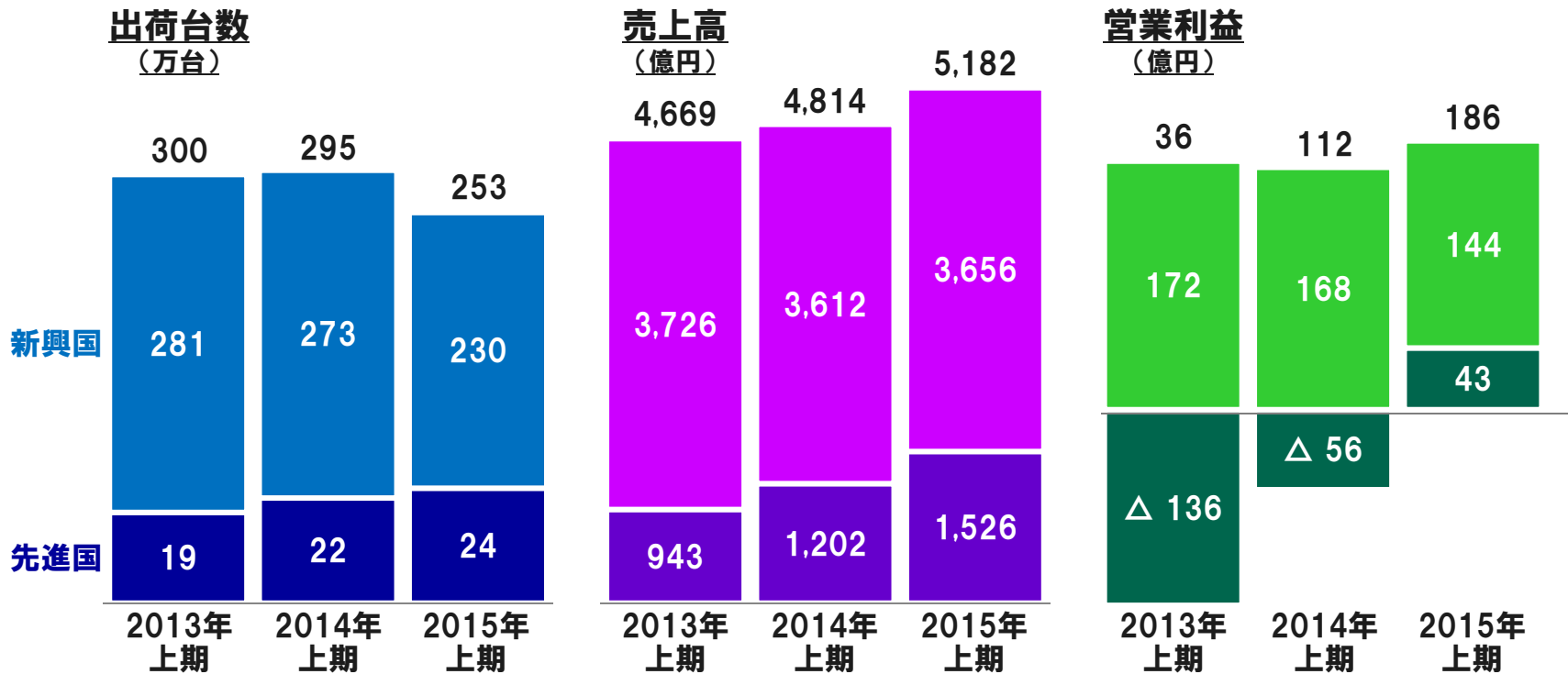
新興国：新商品の市場浸透に注力する。

■ 年間

次期中期計画『ひと回り・ふた回り大きな個性ある企業』に向けて、「ブランド力」と「各事業の稼ぐ力」を更に高める。

二輪車事業：概観

- 先進国：増収・増益続き、事業黒字化へ。
- 新興国：売上高・営業利益は、概ね前年水準を維持。

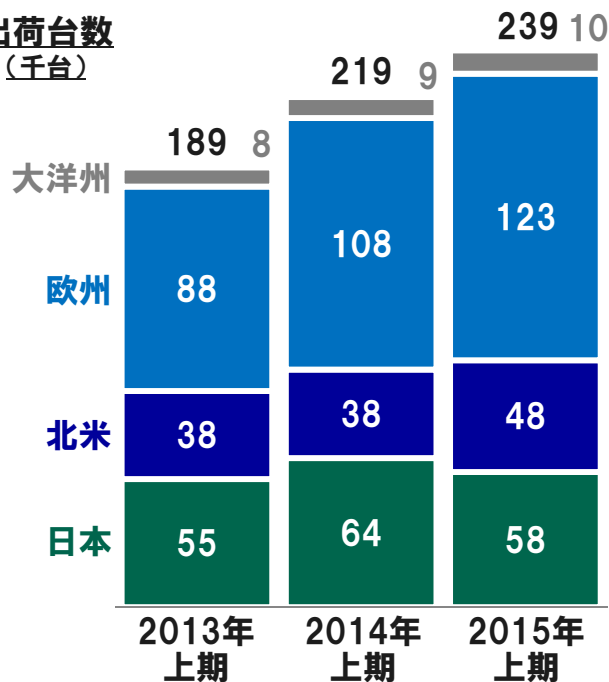


事業黒字化へ

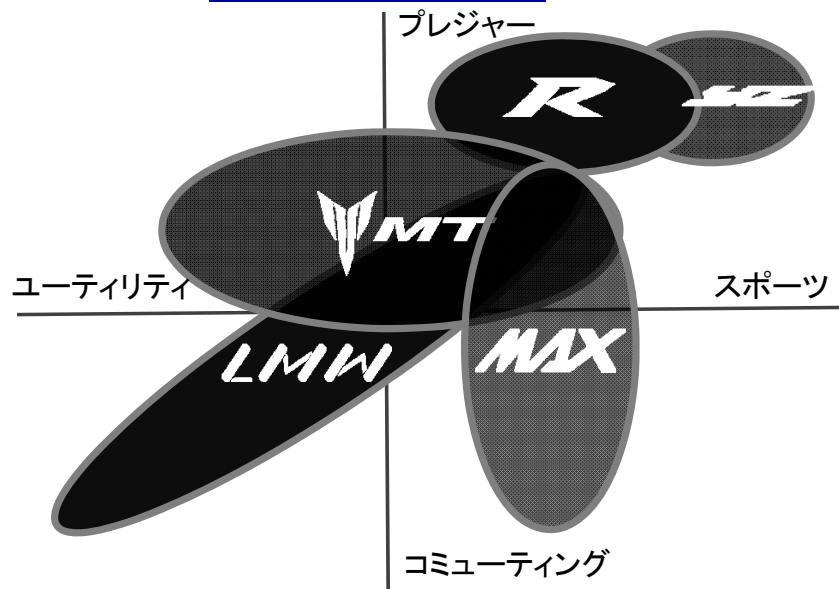
【市場】欧米の回復続く（欧州104%・北米105%・日本90%）

【当社】新商品効果・構造改革により、更に競争力を高める。

出荷台数
(千台)



個性的な商品ラインナップにより
ブランドを輝かせる

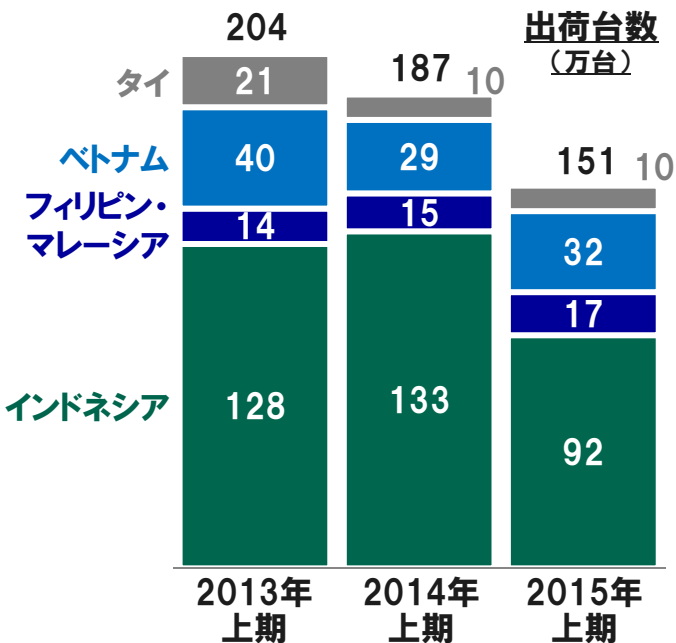


二輪車事業：アセアン

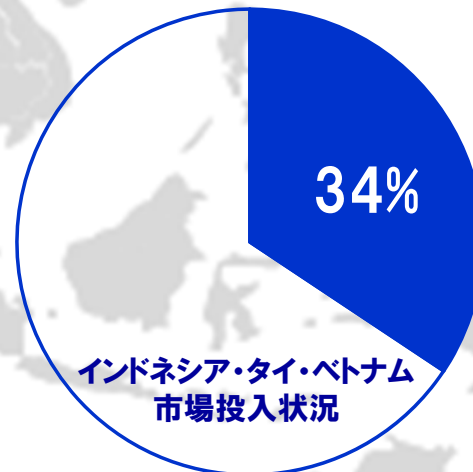
前年水準の業績を維持する

【市場】ベトナム底打ち(104%)、インドネシア低迷続く(85%)

【当社】各市場で、高価格商品の高シェア維持・プラットフォームモデル市場浸透に注力して、事業基盤を固める。



BLUE COREの投入進む 初年度40%へ

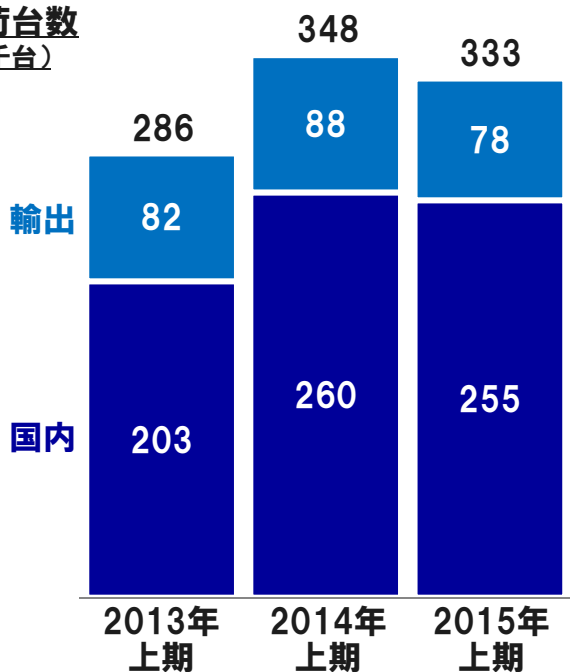


将来成長に向けた事業体制・商品開発進む

【市場】横這いながら安定感続く（100%）

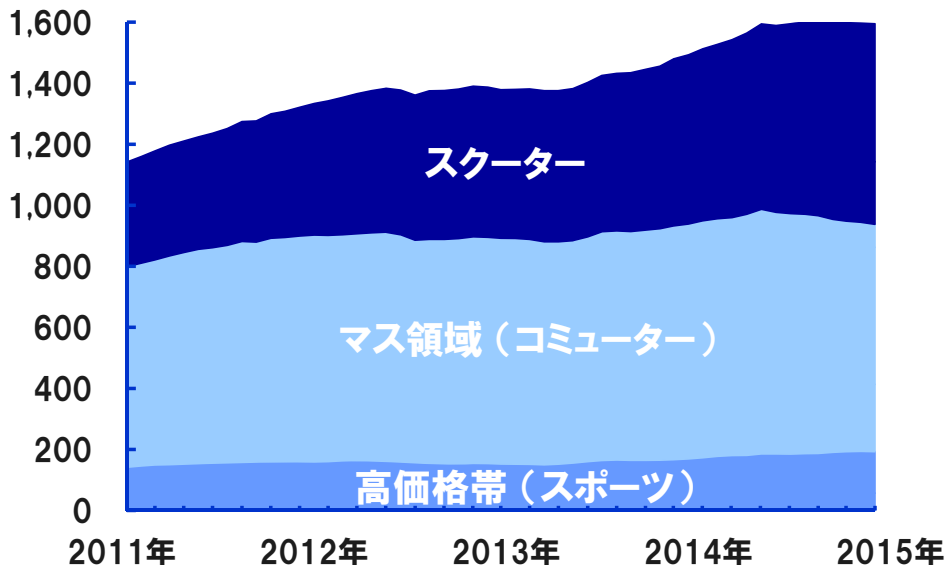
【当社】高価格帯で高シェア獲得、マス領域へ新商品投入、スクーター拡充。

出荷台数
(千台)



(単位:万台)

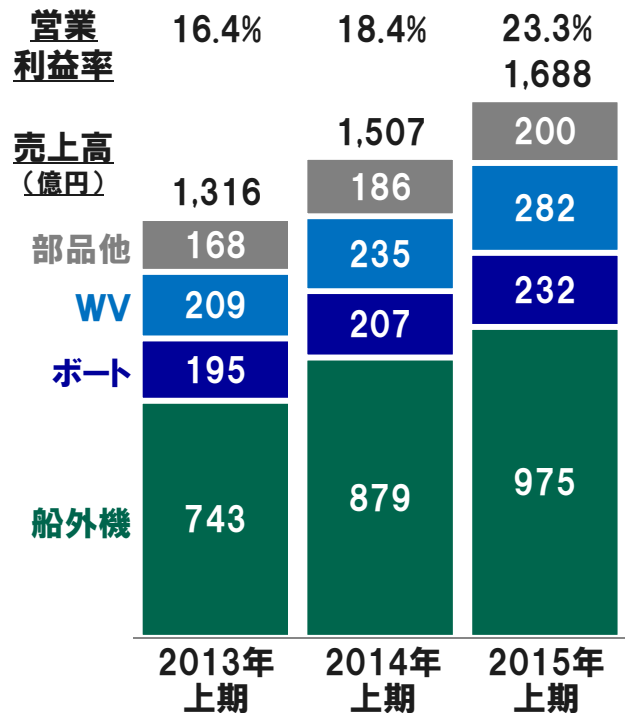
各領域への商品投入進む



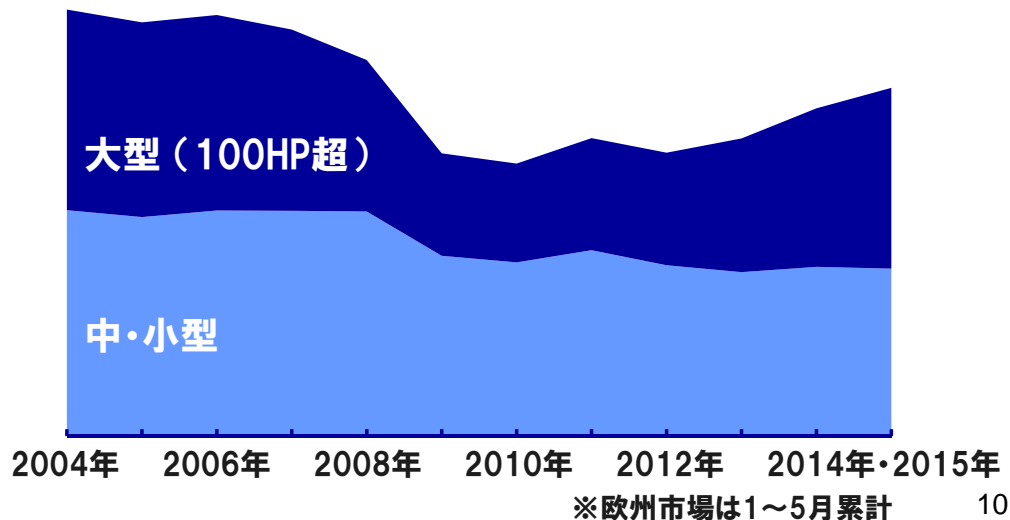
更なる高収益ビジネスモデルへ

【市場】モメンタム続く（船外機：北米110%・欧州110%）

【当社】船外機の大型化進み、更に総合力+信頼性+ネットワーク力を高める。



モメンタム続く北米市場で 船外機の大型化進む

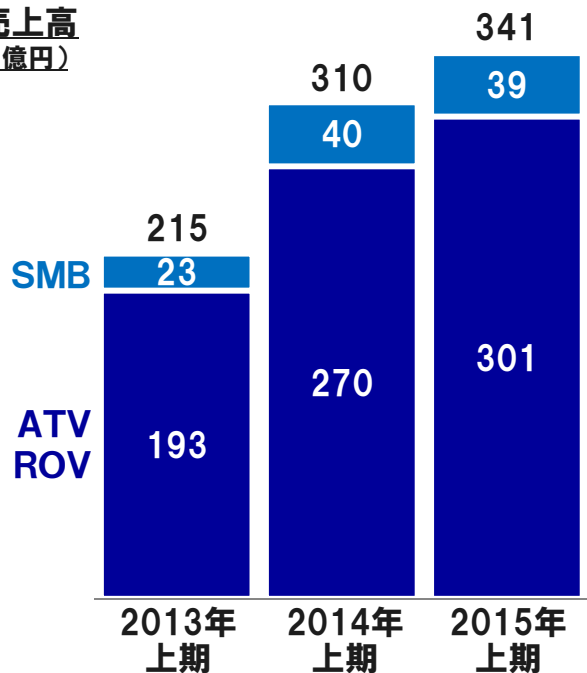


ROVの本格的なポジション回復へ

【市場】回復進む（米国112%）

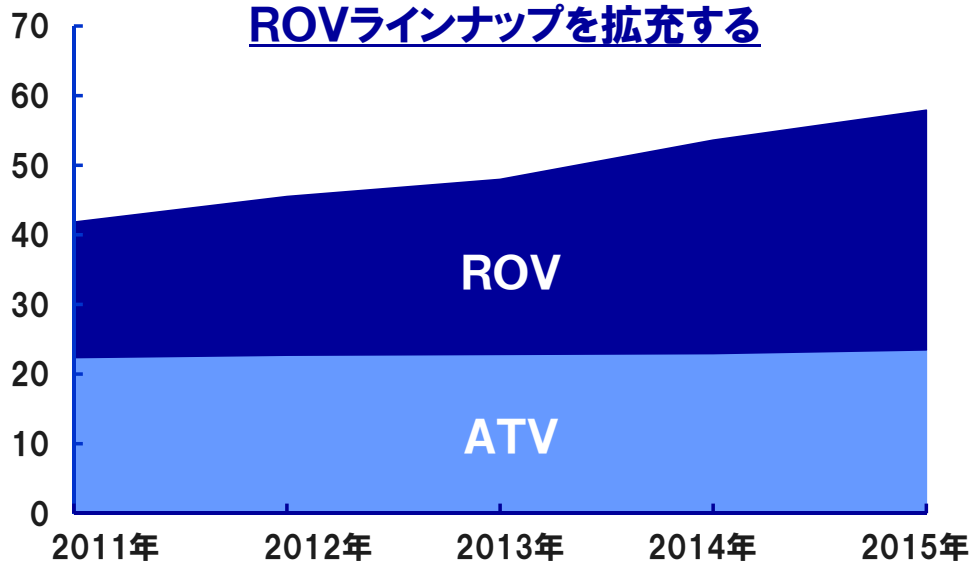
【当社】3モデル投入完了、待望の本格スポーツ領域へ準備を進める。

売上高
（億円）



（単位：万台）

回復続く米国市場で、
ROVラインナップを拡充する

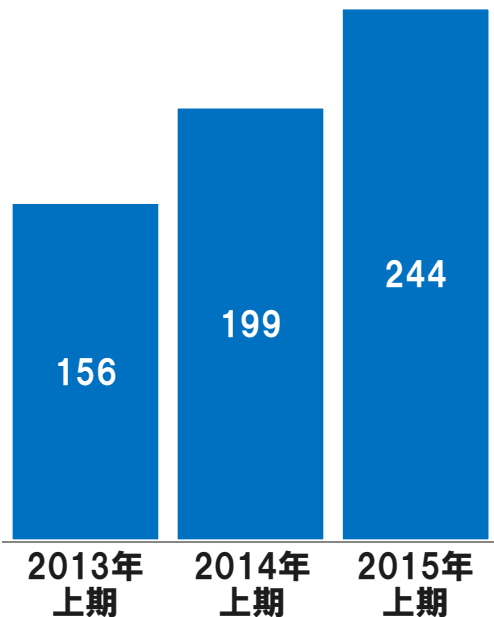


高収益ビジネスモデルの事業基盤を固める

【市場】グローバルな投資需要回復進む

【当社】他社事業の取り込み・新しい事業拠点建設等、事業体制を強化する。

売上高
(億円)



高効率な開発・生産・販売拠点建設
(2017年1月操業予定)

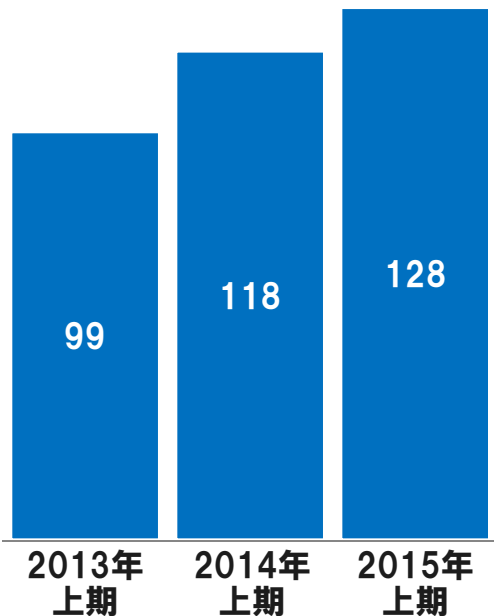


成長戦略進む

【市場】国内市場の安定続く

【当社】国内販売の拡大(105%)、欧州輸出の本格化(112%)

売上高
(億円)



新技術 (GREEN CORE) の 商品展開を進める



『地球に優しい+楽しい走り』
軽量・コンパクト・高性能



PAS VIENTA5
(GREEN CORE搭載モデル)

- 増収(112%)・増益(138%)、現行中期計画の目標達成見込み
- 年間配当予想44円(中間配当実施22円)

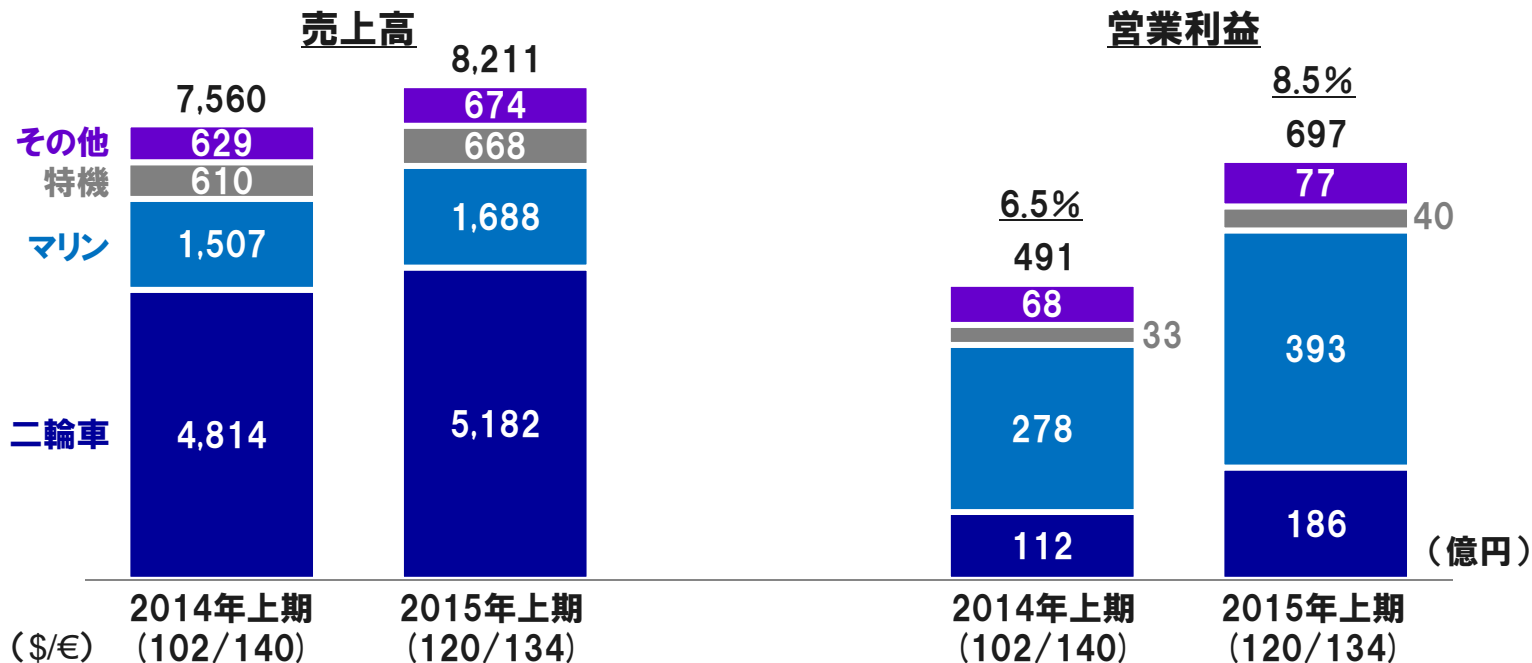
(億円)	2014年 年間実績	2015年 上期実績	2015年 年間予想
売上高	15,212	8,211	17,000
営業利益	872	697	1,200
営業利益率	5.7%	8.5%	7.1%
経常利益	973	744	1,230
当期純利益	685	521	760
為替 (\$/€)	106円/140円	120円/134円	118円/132円 (下期): \$115円/€130円
配当金	40円	22円	44円

事業別説明

事業別 売上高・営業利益：上期実績

全事業セグメントにおいて増収・増益

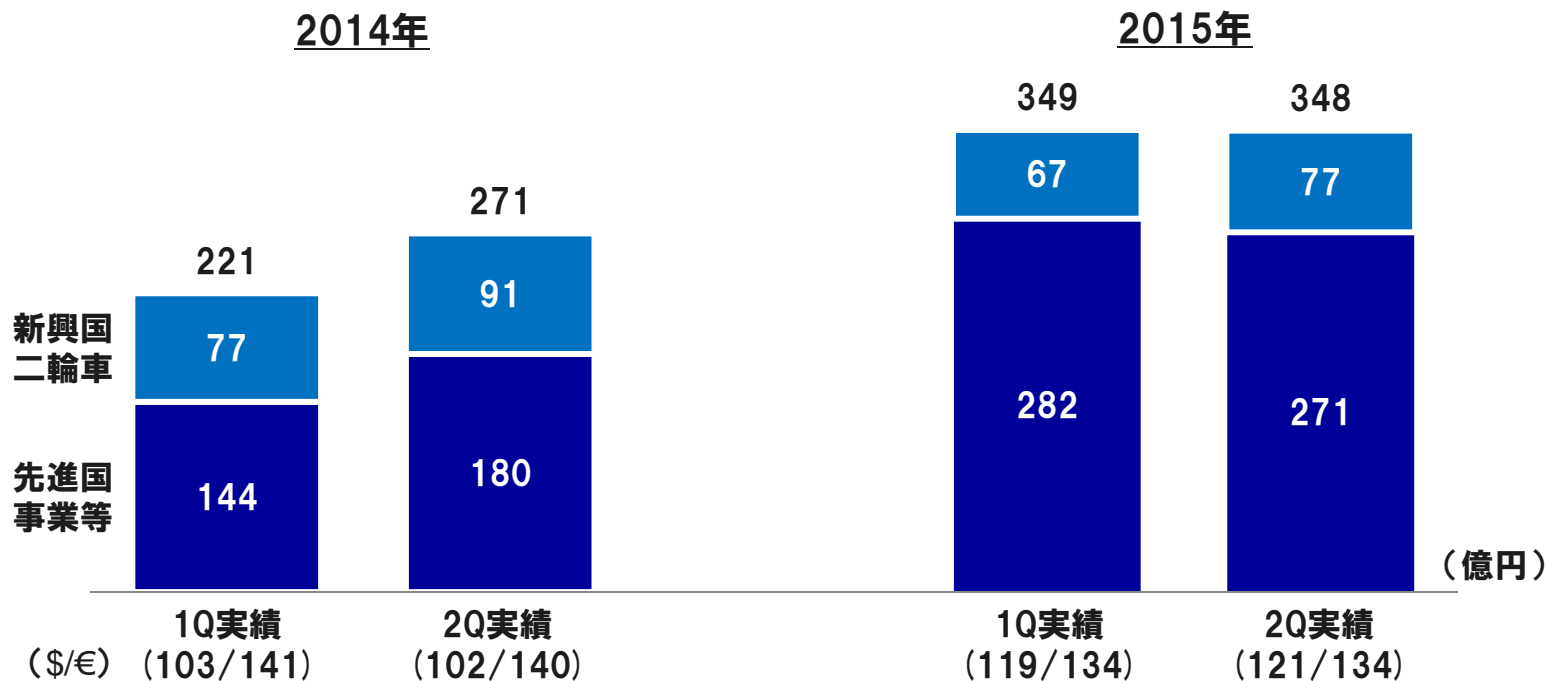
- 二輪車：先進国は大幅増益、アセアンは前年水準。
- マリン：総合的な収益体質改善・円安効果により、営業利益率23%へ。



※ その他：産業用機械・ロボット含む

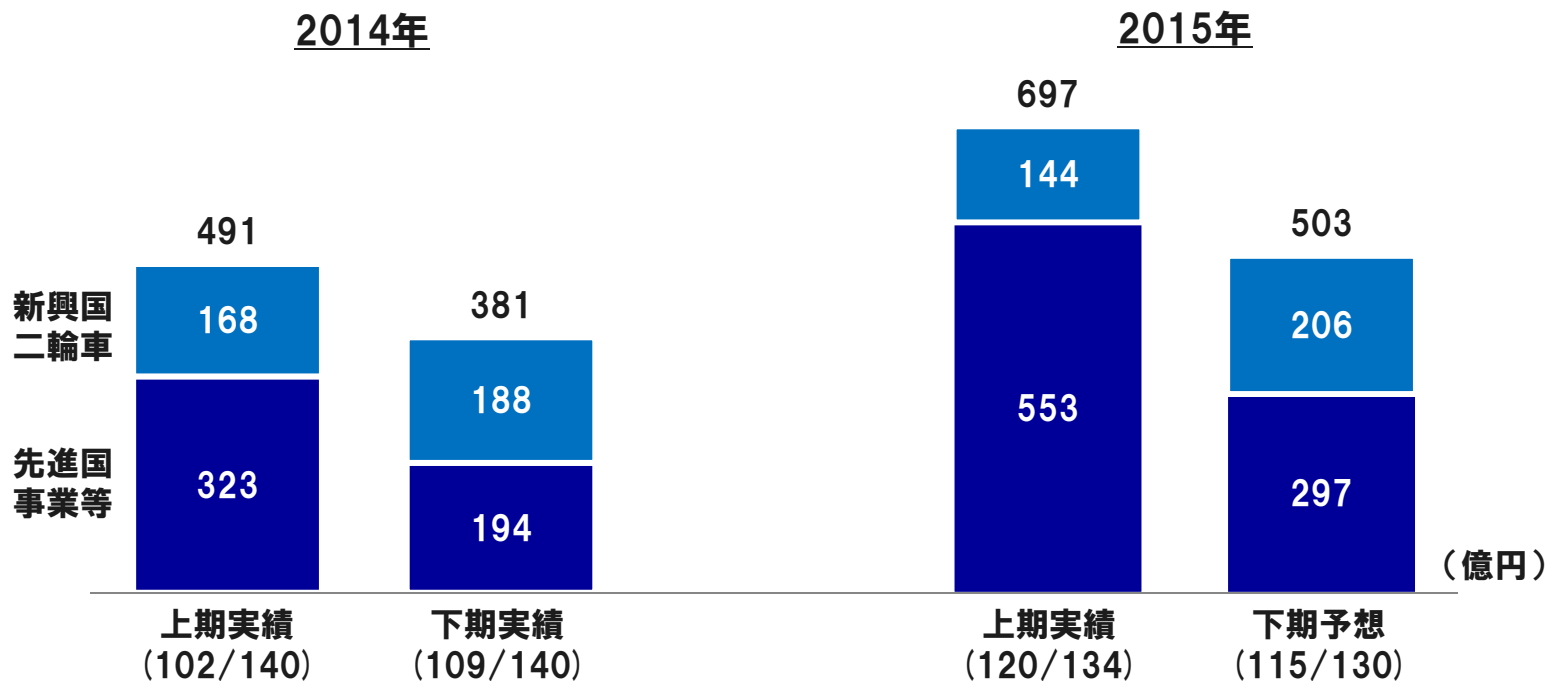
営業利益：上期推移

- 先進国事業等：二輪車・大型船外機の生産・出荷増で安定的に増益続く。
- 新興国二輪車：高価格商品・プラットフォーム効果による収益改善、市場ミックス等の結果、前年水準の業績を維持する。



営業利益：下期予想

- 先進国：各事業において新商品投入が進み、安定的に増益続く。
- 新興国：各市場で高価格商品の高シェア維持・プラットフォームモデルの市場浸透を進め、前年水準の業績を維持する。

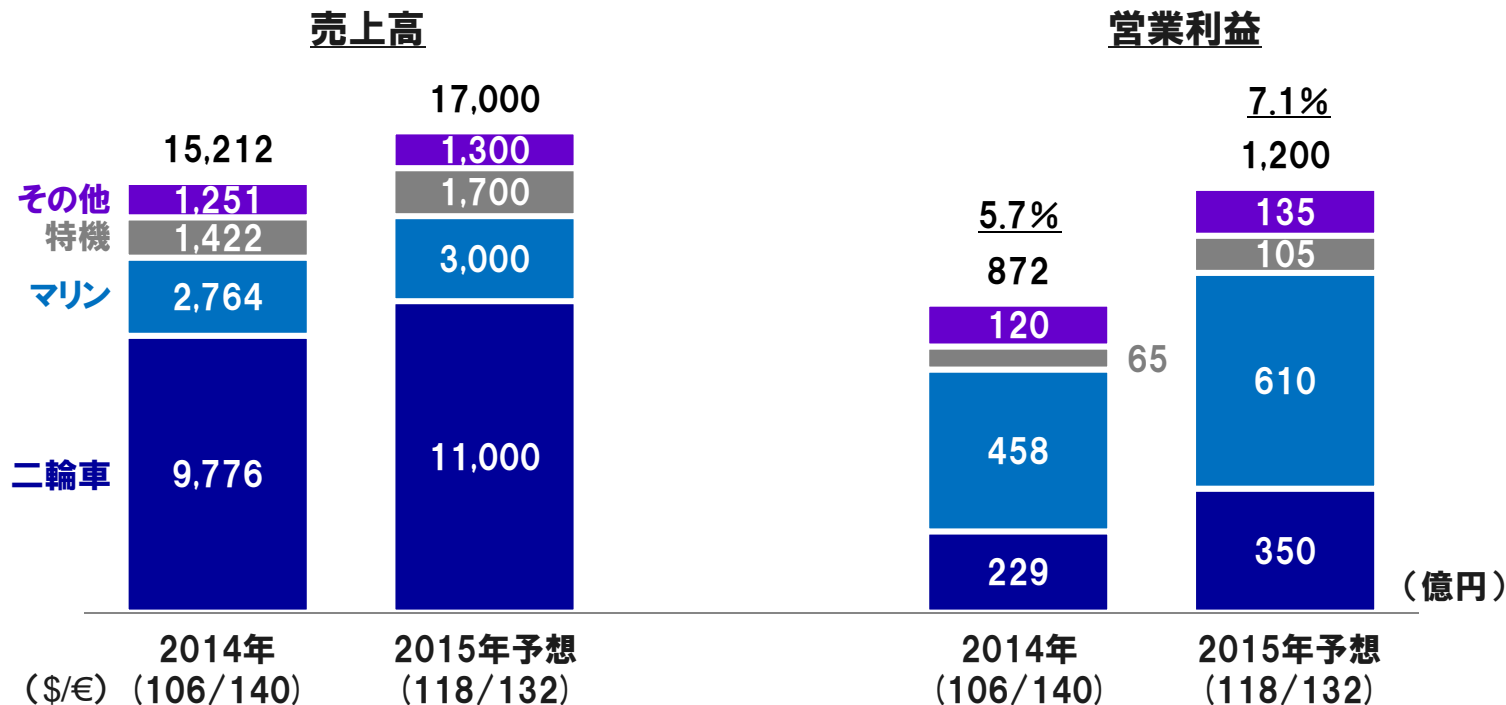


事業別 売上高・営業利益：年間予想



当初予想通り

■ 全事業セグメントで、増収・増益を続ける。



(億円)

※ その他：産業用機械・ロボット含む



YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数



台数単位:千台

	総需要 (当社推定)		
	13年実績	14年実績	15年予想
日本	460	450	440
北米	520	539	563
欧州	1,649	1,515	1,504
インドネシア	7,744	7,686	6,600
タイ	2,004	1,696	1,724
インド	14,343	15,996	16,743
ベトナム	2,793	2,711	2,709
台湾	668	666	670
中国	11,627	10,655	9,829
その他	4,365	4,395	4,113
アジア計	43,544	43,805	42,388
ブラジル	1,515	1,430	1,290
その他	7,989	7,931	7,995
その他計	9,504	9,360	9,285
二輪車計	55,678	55,669	54,180
船外機	781	808	736
ATV	523	436	430
電動アシスト自転車 (日本)	435	473	500

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	13年実績	14年実績	15年予想
日本	109	123	111
北米	76	79	92
欧州	162	191	206
インドネシア	2,492	2,371	2,000
タイ	348	223	235
インド	462	567	621
ベトナム	766	643	700
台湾	189	210	236
中国	465	445	405
その他	355	359	408
アジア計	5,077	4,819	4,605
ブラジル	179	181	157
その他	411	406	384
その他計	590	587	541
二輪車計	6,014	5,799	5,555
船外機	313	329	294
ATV	55	53	59
PAS (完成車)	131	150	168

事業別 売上高・営業利益（上期）

売上高（億円）

	上期		年間	
	14年実績	15年実績	14年実績	15年予想
二輪車	4,814	5,182	9,776	11,000
マリン	1,507	1,688	2,764	3,000
特機	610	668	1,422	1,700
その他	629	674	1,251	1,300
合計	7,560	8,211	15,212	17,000

営業利益（億円）

二輪車	112	186	229	350
マリン	278	393	458	610
特機	33	40	65	105
その他	68	77	120	135
合計	491	697	872	1,200

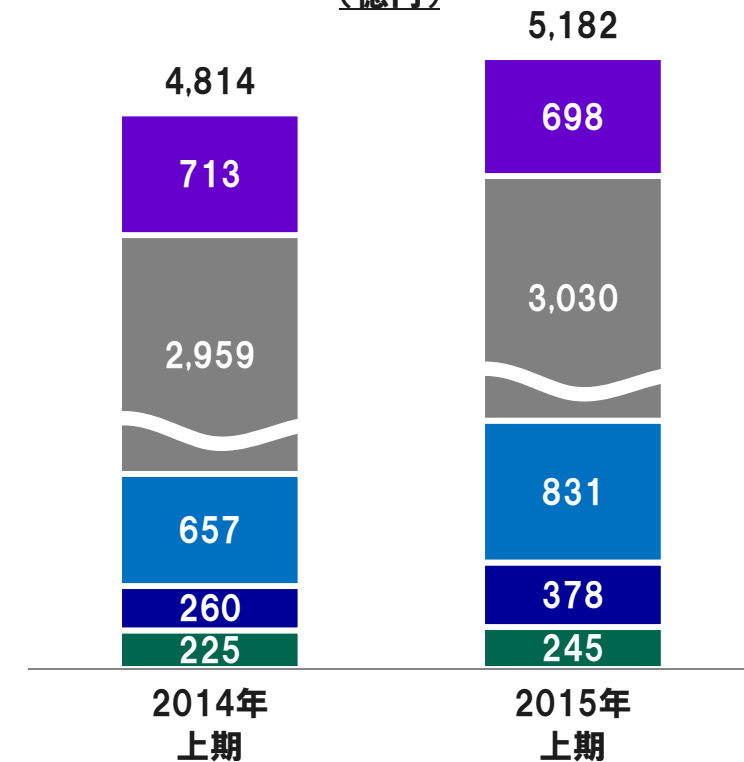
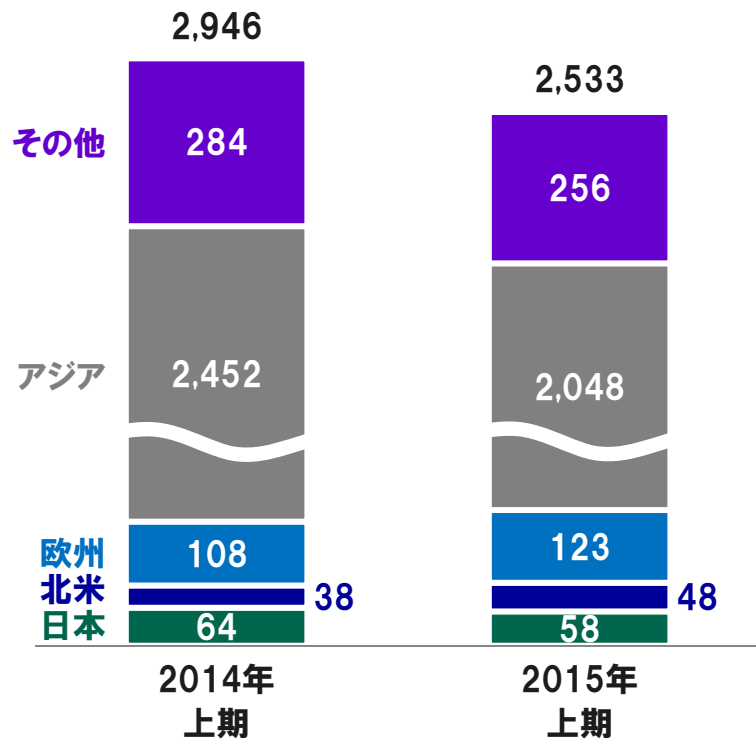
営業利益率（％）

二輪車	2.3	3.6	2.3	3.2
マリン	18.4	23.3	16.6	20.3
特機	5.4	6.0	4.6	6.2
その他	10.8	11.4	9.6	10.4
合計	6.5	8.5	5.7	7.1

二輪車販売台数・売上高（上期）

出荷台数
(千台)

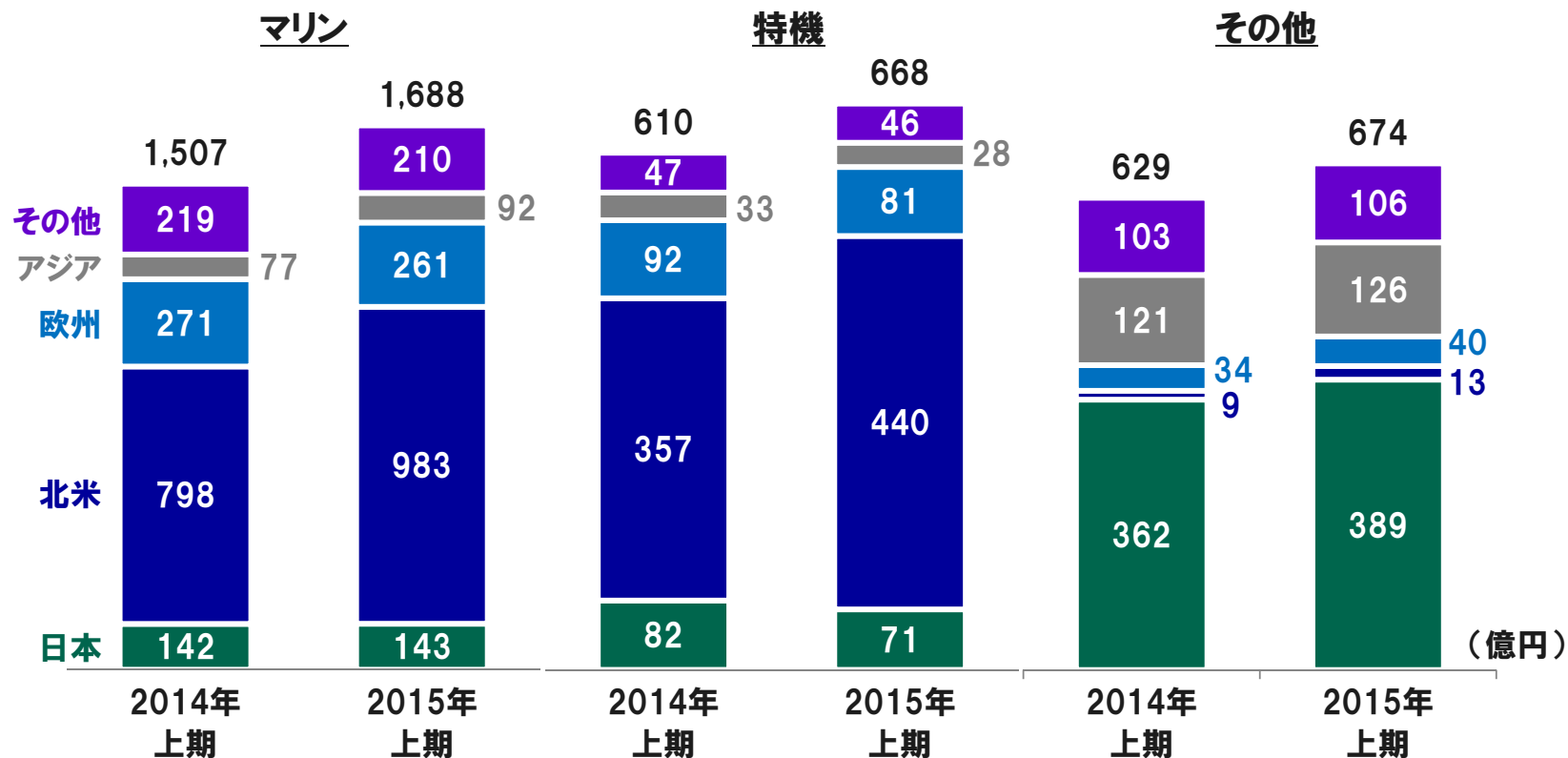
売上高
(億円)



(\$/€) (102/140)

(120/134)

マリン・特機・その他 売上高（上期）



(\$/€) (102/140) (120/134)

※ その他：産業用機械・ロボット含む

為替影響（対前年）

(億円)	15年 実績(上期)				15年予想(年間)			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	136	△22	△14	100	171	△46	△20	105
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△32	△32	0	0	△100	△100
粗利益の換算影響（海外子会社）	54	△11	50	92	68	△21	55	102
販管費の換算影響（海外子会社）	△37	7	△39	△68	△47	18	△39	△68
営業利益への為替影響	153	△26	△35	92	192	△49	△104	39

為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ 7億円
EURO 3億円

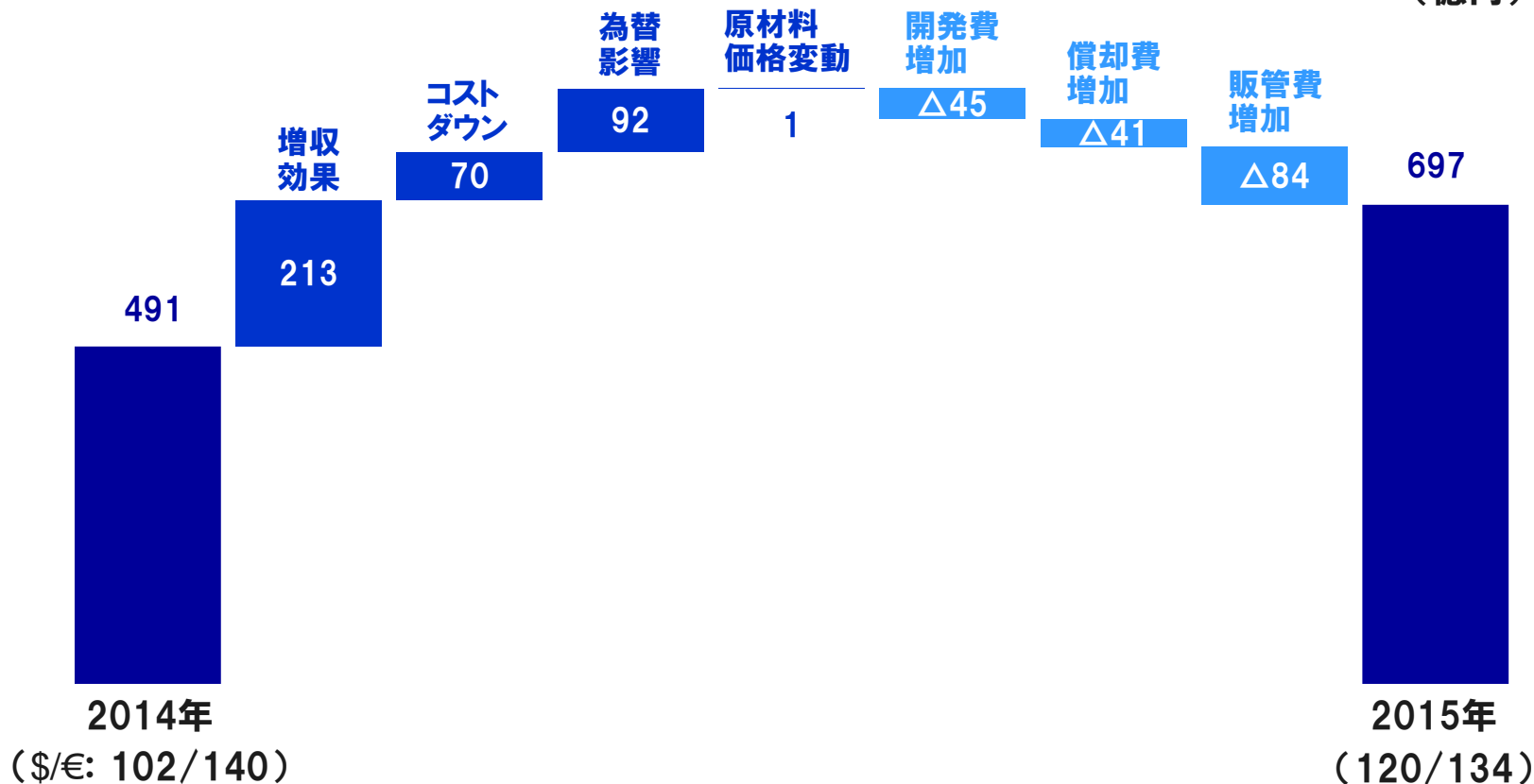
US\$ 14億円
EURO 5億円

(億円)

	14年上期 実績	15年上期 実績
設備投資	249	271
減価償却費	178	219
研究開発費	398	443
有利子負債	3,667	3,987
(うち販売金融分)	1,630	2,052

営業利益変動要因（上期）

（億円）



営業利益変動要因（年間予想）

（億円）

